

## Ⅱ 平成25年度 小中学校校長研究協議会の提言・提案について

### 1 教育課程

- 地域の教育力の活用，地域人材の活用を推進
- ◎ 小学校高学年での教科の専門性を生かした教科担任制の導入
- 小中連携の積極的な推進
- ◎ 校長の「育てる」経営意識と教職員の特性を生かした学校経営参画の推進
- 組織を生かした達成目標値の設定と適切な進行管理

### 2 学力向上

- 組織的且つ計画的な推進体制
- ◎ 教職員の適材適所のもと，動きやすい組織や体制を整え，ミドルリーダーや意欲ある教員，実践力のある教員の人材育成
- 学力向上のための授業改善
- ◎ 校内研修の工夫改善，実効性のある授業研究，相互授業参観を通しての教員一人ひとりの授業力の向上
- 家庭における学習習慣の確立に向けた保護者への働きかけ
- 校内研修の充実，「与えられた研修から，求める研修へ」の意識の転換

### 3 健康・体力

- 幼小中等の学校間，家庭・地域と連携した体育・健康教育の推進
- 組織の構築による学校全体での健康・体力向上への取組
- 運動に親しむ環境作りの工夫と施設・遊具確保の要望

### 4 道徳教育

- 道徳の教科化に向けた情報収集と研修の推進
- ◎ 地域・保護者も共に考え育つ機会とする積極的な道徳授業公開の実施
- 校長のリーダーシップによる道徳教育の方向性の明確化
- 校長自らによる道徳授業を教師に公開

### 5 生徒指導

- 生徒指導体制構築のために，ミドルリーダーやコーディネーター，ファシリテーター 等の人材育成
- 学校と保護者が協力体制を築き，連携した対応を実践
- ◎ 生徒指導に関わる人的配置の充実の必要性の要望
- 積極的な生徒指導と小中連携の推進
- ◎ 外部関係機関との連携

### 6 進路指導（キャリア教育）

- 小中で連携した9年間を見通したキャリア教育の推進
- 児童生徒や保護者の思いと教職員の思いをつなぐ，キャリアコーディネーターの育成
- 21世紀を生きるこどもたちに身につけさせるべき力の明確化

## 7 経営課題（業務の効率化）

- 教職員の意識改革
- 事務処理のコンピュータを活用した、デジタル化の推進
- 学校行事や業務内容の削減・職員の処理能力向上による軽量化
- ◎ 部活動の効率化
- 生み出された時間の有効活用

## 8 経営課題（学校評価）

- ◎ 地域と保護者との信頼関係の構築のための情報共有
- 学校評価の効果的・効率的な実施
- 学校を全員で変えていく意識の高揚
- 学校評価，自己評価をするための調査や会議の効率化

## 9 経営課題（指導に問題のある教員）

- 学校の支援体制の構築と組織を生かした対応
- ◎ 教員一人一人の指導状況の把握と早期からのきめ細かな支援体制の整備
- 関係諸機関との連携と行政への支援の要請

## 10 経営課題（特色ある教育活動）

- 校長としての経営ビジョンとぶれない戦略の構築
- 自主性やたくましさを身に付ける児童生徒主体の学校行事
- 企業や地域との連携による，特色ある教育活動の推進
- ◎ 各学校のミドルリーダー育成の積極的な推進

## 11 経営課題（部活動）

- 部活動の意義と体罰防止の再確認
- 学校全体の部活動の在り方の調査
- 外部コーチの身分・立場の理解と校内連絡体制の整備
- 教育的部活動の推進

## 12 条件整備

- 全職員参加で進める学校経営の推進
- ◎ 教務主任の別枠配置の要望
- ◎ 加配教員の増員及び加配教員の柔軟な勤務形態への改善の要望
- 市町村教育委員会との連携強化
- 講師経験者のさらなる優遇の推進

## 13 家庭・地域との連携

- 地域に出向き，率先垂範のリーダーシップの発揮
- グランドデザインや学校経営方針等の保護者，地域への情報発信
- 信頼される学校づくりを目指し，以下の4つを開く。  
①「施設を開く」 ②「教育活動を開く」 ③「学校運営を開く」 ④「教職員の意識を開く」

## 14 職員研修

- 学校組織目標と校内研修を関連づけた組織，体制づくり
- ◎ 校長同士の連携と情報交換
- 学校運営への参画意識の向上
- 「授業づくりは学校づくりである」という認識と自覚
- 計画的な外部指導者の招聘

## 15 特別支援教育（インクルーシブ教育）

- 校内支援体制の整備充実のための特別支援コーディネーターの役割の明確化と育成
- ◎ 幼保小連携・小中連携「特別支援教育」の推進
- ◎ 個に応じる支援体制整備のための人的配置・予算確保に向けた要望
- 組織としての対応と教職員の資質向上

## 16 防災・安全

- 学校と地域の一体制の防災，減災システムの構築
- ◎ 防災教育の充実，防災管理の徹底
- 子どもの安全とともに安心を確保するための取組の推進
- 子どもが自分で判断し，自分で行動し，危険等を回避する力を身につけさせるための指導と実践能力の育成

## 17 給食費滞納・保護者クレーム対応

- 関係機関との関係の構築
- 職員の対応能力を高める研修や指導の充実
- 保護者や地域を巻き込んだ協動的連携の推進

## 18 教職員のメンタルヘルス

- チーム支援体制の確立
- ◎ 発達障害傾向の児童生徒を抱える教師への支援

## 19 リスクマネジメント

- ◎ 今日的課題に対する専門家や民間経営者を招請した研修会の実施
- 児童生徒を生かす指導と職員を生かす学校経営の推進
- 「目をかけ，気にかけ，声をかける」風通しの良い職員室づくり

## 20 小中連携・小中一貫

- 組織やシステムの確立・協力体制の構築と連携
- 9年間で育てたい児童生徒の姿の明確化
- 小中・小小間における積極的な交流活動の実施と職員間の交流機会の確保
- ◎ 小中一貫教育の課題改善を図る研修テーマの設定と重点施策の実施
- 小中一貫のよさや成果が見える情報の発信